

リースカー専用

フラット7自動車保険

フラット7加盟店にて、
リース車両をご利用いただく
お客さまにはフラット7専用
の自動車保険をおすすめ
します。

フラット7は
お客さまにぴったりの
自動車保険長期契約です！



フラット7自動車保険の6つのメリット

- 1 リース車特有のリスクに対応**
万一の全損時、常にリース契約の中途解約費用が支払われるので安心です。
- 2 事故があってもリース期間中の保険料アップなし**
事故があった場合でも、リース期間中の保険料は変わりません。
- 3 保険料支払もコミコミ定額**
保険料もリース契約に含まれているのでリース期間終了まで定額のお支払いです。
- 4 1年ごとの手続きは不要です**
リース期間中は毎年の継続手続きは不要です。
- 5 ワイドな車両保険付帯でさらに安心**
事故による車両の損害はもちろん、いたずら、あて逃げ、洪水などの自然災害による損害にも対応しています(地震、噴火、津波を除きます。)
- 6 他の保険会社からの切替でも安心**
現在ご加入の自動車保険の割増引を継承し、そのままリース期間中適用できます。

フラット7自動車保険の大きな4つの安心

クルマに関する費用をリースにまとめて

定額化!

家計に安心

保険期間をリース期間に合わせることで、ご契約期間中の保険料を定額化!

メンテも保険も、クルマに関する窓口を

一本化!

迷わず安心

お車のメンテナンスも万が一の事故の時も窓口一本化で迷わずスピーディ!

リースカー向けの車両保険プランで

最適化!

方が一も安心

リース期間中の全損事故でも中途解約金はすべて保険でカバー!

長期のご契約で、煩雑な手続きを

簡素化!

漏れなく安心

毎年のご継続手続きは不要! ご契約期間中は事故があっても、保険料の影響はありません!

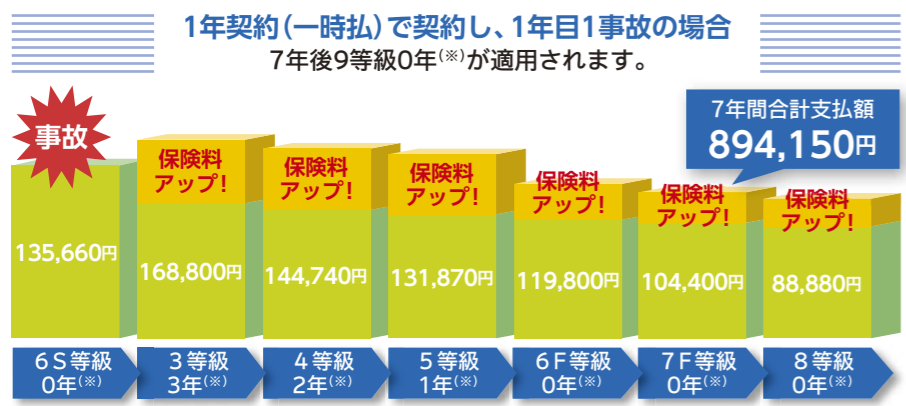
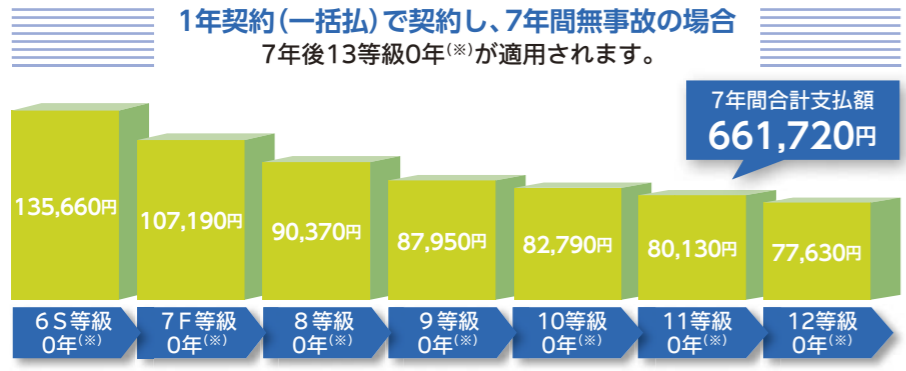
<ご契約条件>

●保険種類:SGP(一般自動車保険) ●記名被保険者:個人 ●自家用軽四輪乗用車
●お車の初度登録年月:平成29年1月 ●保険期間:平成29年1月1日から1年間または7年間 ●初年度ノンフリート6S等級 事故有係数適用期間:0年
●運転者年齢条件:26歳以上補償 ●対人・対物:無制限 ●人身傷害保険:5,000万円 ●人身傷害入通院定額給付金:10万円 ●記名被保険者始期時年齢:40歳
●車両保険:一般条件(自己負担額:0-10万円 車両保険金額:1年目=160万円 2年目=130万円 3年目=105万円 4年目=90万円 5年目=70万円 6年目=65万円 7年目=55万円) ●リース車両費用特約:一般条件(自己負担額:0-10万円 車両保険金額:1年目=225万円 2年目=195万円 3年目=160万円 4年目=135万円 5年目=90万円 6年目=70万円 7年目=45万円(リース係数:0.9695)) ●弁護士費用特約 ●対物全損時修理差額費用特約

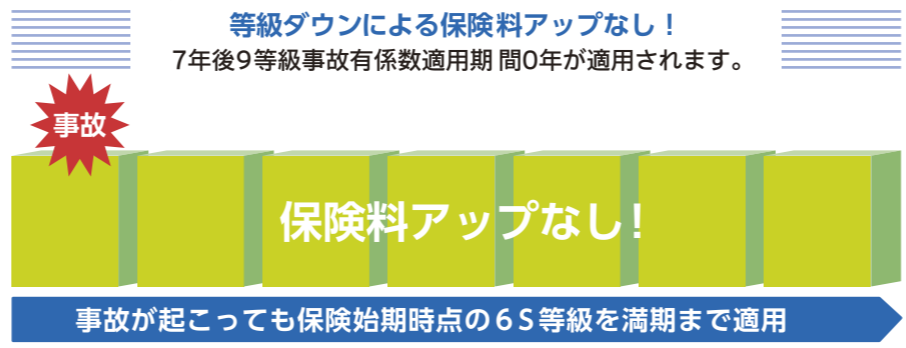
保険期間はリース期間にあわせて設定するので毎年の継続手続き不要！

期間中は事故があっても保険料アップはありません！

従来の契約では・・・



フラット7自動車保険では・・・



7年間合計支払額 **629,910円**
保険期間7年（一時払い）

1年目に事故（3等級ダウン事故1回）を起こしてしまった場合
フラット7自動車保険なら **264,240円**もお得！！

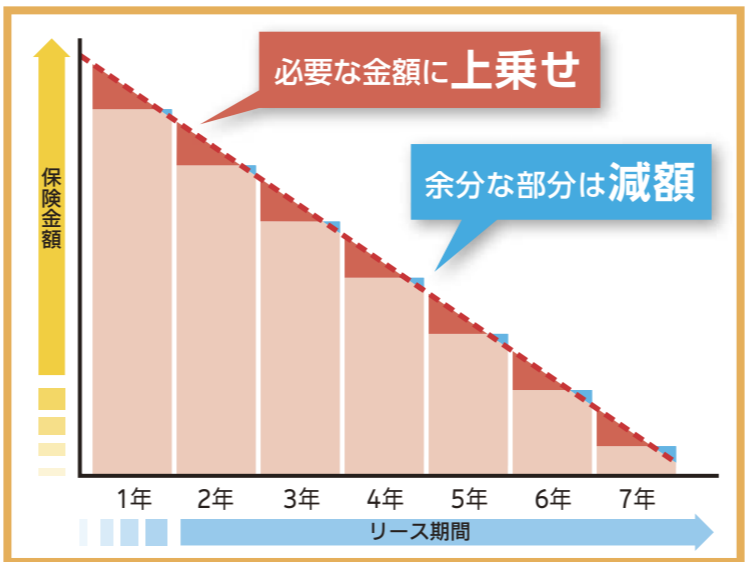
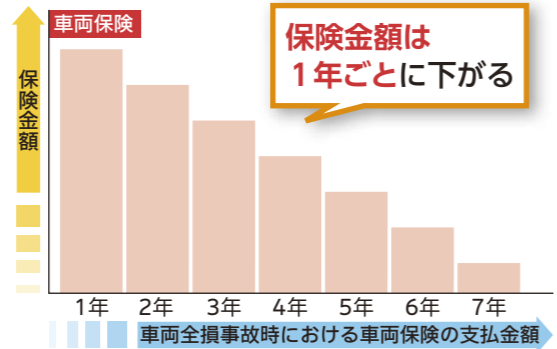
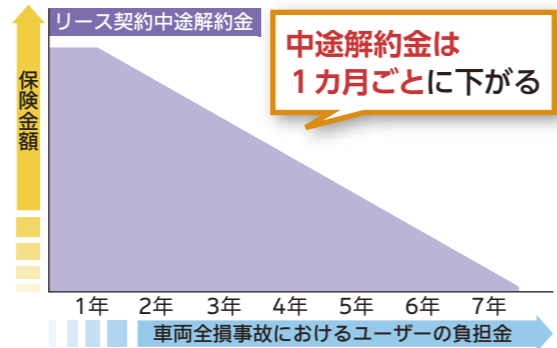
事故なしの場合でも、7年後13等級適用で
フラット7自動車保険なら **31,810円**もお得！！

リースカーの車両費用特約の特徴

車両全損事故時の支払保険金をリース契約の中途解約金と同額とする特約です。

リースカー全損事故時の支払保険金 = リース契約の中途解約費用

通常の車両保険ではリース車が全損した場合に、必要な補償に対して補償額の不足や超過が発生します。本プランではこれを解決し、合理的な補償を実現しました！

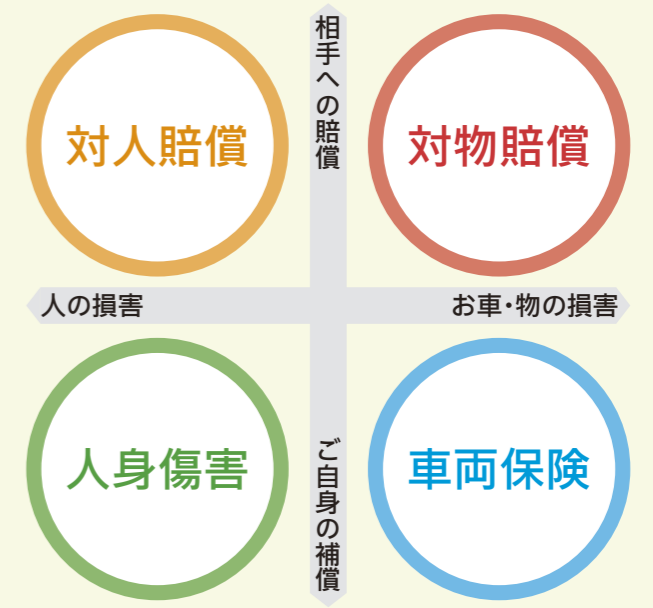


..... 通常の車両保険金額
- - - - - リース契約の中途解約費用＝全損時の保険金お受取額
..... 通常の車両保険での超過補償部分
..... 通常の車両保険での不足補償部分

万全の補償

すべてのお客さまにご提供する補償およびサービス

4つの基本補償



ロードアシスタンス

ご契約の自動車事故、故障またはトラブルにより走行不能となった場合に、レッカーけん引や応急処置などのロードアシスタンスを24時間365日スピーディーにご提供します！

ニーズに合わせたオプションもお選びいただけます

- 車は毎日使っているのに事故や故障の時は代車が必要！
 - ロードアシスタンス運搬後諸費用特約
 - 事故・故障代車費用特約
- 家族が使っている原付の補償も欲しい！
 - ファミリーバイク特約
- 被害事故の解決は弁護士に依頼したい！
 - 弁護士特約
- 自転車で歩行者にケガをさせた場合など、家族の日常生活上での賠償事故に備えたい！
 - 個人賠償責任特約

※1年契約を継続した場合の保険料は、全て2016年2月時点での保険料です。2年目以降の保険料は、翌年以降に実際にお引き受けする際の保険料とは異なる場合があります。
 ※保険期間中の等級や保険料の変動はありませんが、保険期間満了後（次回継続時）は保険期間年数・保険期間中の事故件数・事故内容に応じた等級により保険料を計算します。
 ※同一保険年度に事故が2回以上発生した場合など、保険期間満了後（次回継続時）の適用等級が1年契約を継続したときと異なることもあります。
 ※事故なしの場合、条件によってはリースカーの車両費用特約を付帯した契約の方が従来の契約より保険料が高くなるケースがあります。

万全の事故・故障対応でお客さまをサポートします！



24時間365日途切れることのない安心！

意外と多い休日や夜間の事故。損保ジャパン日本興亜は、夜間・休日でも「24時間初動対応サービス」で、事故直後のお客さまの不安を解消し、安心をお届けします。

平日日中の事故

実に60%以上の事故が夜間・休日に発生しています。



業界最高水準

夜間・休日の事故対応サービス

安心の「24時間初動対応サービス」

お客さまへの「24時間初動対応サービス」		相手方への「24時間初動対応サービス」	
保険対応の可否判断	事故解決のアドバイス	事故受付の連絡	修理工場への連絡
代車の手配	修理工場のご紹介	病院への連絡	代車の手配
修理工場への連絡	病院への連絡		

充実のロードアシスタンス！

■24時間365日サポート体制！

■全国約**13,000**か所のロードアシスタンスネットワーク！

平成28年4月現在

① レッカーけん引 <<クレーン作業も対象！>>

修理工場などへレッカーけん引を行います(下記応急処置費用と合計で、1事故につき15万円限度*とします。)

*ロードアシスタンス専用デスクに事前連絡をしていただき、損保ジャパン日本興亜の指定する修理工場などにレッカーけん引する場合は、無制限となります(限度額15万円は適用しません。)

② 応急処置

現場で30分程度で完了する応急処置を行います。

- 主な事例
- ・バッテリー上がり時のジャンピング
 - ・キー閉じこみ時の鍵開け
 - ・パンク時のスペアタイヤ交換
 - ・落輪した場合の引き上げ

③ 燃料切れ時の給油サービス

燃料切れ時に最大10リットルまで無料でお届けします。

事故発生

車が動かない...

安心の事故対応ネットワーク

日本全国のどこで事故が発生しても速やかに対応できるよう、全国約**310**か所の保険金サービスネットワークを展開し、約**11,100**人の経験豊富な保険金サービススタッフが、事故にあわれたお客さまを全力でサポートします。

平成28年4月現在

日本全国の安心の事故対応
47都道府県
約310か所

JAF会員の皆さまには『JAF+ 損保ジャパン日本興亜のロードアシスタンス』の充実したサポートをご提供します！

JAF会員向け優遇サービス

1. 応急処置時の部品代・消耗品代を補償！

応急処置の際にかかった部品代・消耗品代を、1保険年度につき1回限り、4,000円限度にサービスします。

2. 燃料切れ時の給油サービスは年2回！

燃料切れ時の給油サービスが1保険年度につき2回まで対象となります(JAF非会員の場合、1保険年度につき1回限り対象となります。)

さらに

JAF提供サービスの利用が可能！

ロードアシスタンスでは対象外となる次のJAF提供サービスもご利用いただけます。

1. パンク修理
2. 雪道、ぬかるみ、砂浜などのため走行が困難な状態からの救援
3. タイヤチェーンの着脱

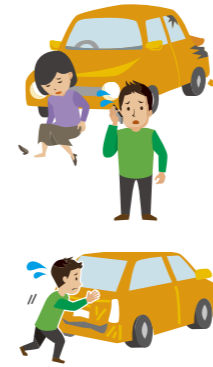
ご注意 1. JAF会員としてのサービスを受ける場合には、事前にロードアシスタンス専用デスクにご連絡いただく必要があります。また、ロードアシスタンスをご利用の際にJAF会員証のご提示が必要となります(運転者または同乗者の方がJAF会員である場合に限り)。JAF会員としてのサービスを受けられなかった場合は、JAF非会員として取り扱います。
2. 作業開始前までにロードアシスタンス専用デスクにご連絡がなかった場合は、サービスの対象外となります。

もしも事故にあわれたら

万が一、事故が起ってしまった場合でも、あわてず落ち着いて次の措置をおとりください。

1. 負傷者の救護・路上の危険防止

- 負傷者の救護が最優先です。
- 負傷者の様子や事故の状況などから緊急の場合は救急車を呼んでください。
- 他の自動車の進行の妨げとならないよう、自動車を安全な場所に移動させ、非常点滅灯(ハザードランプ)をつける、停止表示機材を置くなどの安全対策を行ってください。



2. 警察への連絡

- あいまいなことを言わず、知っている事実を具体的に伝えましょう。



3. 取扱代理店または損保ジャパン日本興亜への連絡

- できるだけ早く、次のことを電話連絡してください。

- 契約者名・運転者名
- 証券番号
- 事故車の登録番号
- 事故の日時・場所
- 事故の状況
- 損害の程度
- 相手方の住所・氏名・連絡先
- 目撃者の住所・氏名・連絡先



ご注意 現場での示談は絶対にしないでください。相手の方から何らかの請求を受けた場合は、必ず「保険会社と相談したうえで、後ほどご連絡します。」とお答えください。

<損保ジャパン日本興亜連絡先>

事故にあわれた際のご連絡先

事故サポートセンター

24時間365日
事故受付・夜間休日の初動

【営業時間】◆24時間365日

0120-256-110

・おかけ間違いにご注意ください。

自動車のトラブル対応時のご連絡先

ロードアシスタンス専用デスク

24時間365日
受付・対応

【営業時間】◆24時間365日

0120-365-110

・おかけ間違いにご注意ください。

☆フラット7自動車保険とは「リースカーの車両費用特約」を付帯した「一般自動車保険(SGP)」のペットネームです。
☆このパンフレットは、「リースカーの車両費用特約」を付帯した「一般自動車保険」の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。



SOMPO ホールディングス
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

モーター営業開発課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
Tel:03-3349-4645
<公式ウェブサイト> <http://www.sjnk.co.jp/>

お問い合わせ先